5月 May 三陽図書館ニュース

こどもの読書週間（4/23～5/12）

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は 1959 年（昭和 34 年）にはじまりました。小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。

NEW どんがら トヨタエンジニアの反骨

著：清武 英利

「絶対に売れない、儲からない」と言われた、時代に逆らう最後のスポーツカーを、命がけで造り上げた男がいる。日本最大の自動車会社・トヨタでもがき、苦しみ、サラリーマンでありながらも夢を追い続けるエンジニアたちの、心ふるわすノンフィクション。

フィクションのような激アツ展開ながら、ノンフィクションという胸アツ本！モノづくりに対する情熱が、ヒリヒリと伝わってきて、読了後の高揚感が抑えられません。こんなふうに、仕事に夢にと走り続けられる男でありたいものです。

NEW 恋とそれとあと全部

著：住野 よる

一緒に過ごす、夏の特別な四日間

めえめえ(瀬戸洋平)は下宿仲間でクラスメイトの女子サブレ(鳩代司)に片想いをしている。告白もしていないし、夏休みでしばらく会えないと思っていた。そのサブレが、ある目的のために夏休み中に遠方にあるじいちゃんの家に行くらしい。思いがけず誘われためえめえは部活の休みを利用して共にじいちゃんの家を目指すことに――。

夏と青春、そして恋。爽やかでもどかしく、読んでいるこちらがドキドキしてしまいます。けれども、この小説はそれだけではないのです。それはサブレの『ある目的』が絡んでいるからです。自分の内面を見つめ直すことや気持ちを言葉にできることの大切さを感じて欲しい１冊です。

《文学よもやまクイズ》

Q.このあらすじはどの作品でしょう？

不登校の主人公が、自室の鏡から異世界の城に誘われ、オオカミさまと名乗る謎の人物から、同年代の少年少女と共にある試練を与えられます。

A 『鏡の中の世界』小松左京

B 『かがみの孤城』辻村深月

C 『鏡の花』道尾秀介

答えは館内に掲示してます！

【作成者】下條/永田